

● 2 月度土曜例会

2 月度土曜例会(11/02/19)

本日のゲストスピーカーはイラン、Tabriz 出身の Sanam さん。専門は口腔外科、文科省の国費留学生である夫君とともに阪大で研究、勉学中です。

IRAN-Archaic Signet of Civilization というタイトルです。数多くのスライドを楽しく見ながらイランの概要、地理、歴史、観光情報、文化芸術、そして食べ物など知らず知らずの内に理解できる、と言う内容でした。イランについては 12 月の木曜例会で Dalia さんも解説してくれたので記憶に新しく予備知識もなんとなく豊富でしたから、今回の説明が非常にすんなりと受け

入れられた感じです。ではその内容について特に新たに理解を深められた何点かを紹介しましょう。最初に地図をご覧ください。イランといえば砂漠の国と言うイメージではありませんか？いえいえ、砂漠から緑豊かな山岳地帯まであり、冬場は-15℃位になる所もある変化に富む国です。富士山に似た 5000m を越える山が雪を戴いている写真を見ればどうですか？かなり違うでしょう。

Tabriz はカスピ海の西方、Tehran, Shiraz, Esfahan は日本に例えるならば東京、奈良、京都との説明がありました。

● .



● .



1) Iran currency 単位は Rial、5,000Rial 紙幣の価値が約 50 円位との事です。 大体 \$ 1 = 10,000Rial 1 円 = 1 2 5 Rial

革命前はアメリカの歴代大統領がイランを訪問していました。それらの写真を見るとああ、そうだったんですね。

● .



2) Achaemenid dynasty, Percepolis での新たな発見

2-1) griffin

The griffin is a legendary creature with the body of a lion, cow and the head and wings of an eagle. As the lion was traditionally considered the king of the beasts, the eagle was the king of the birds, and the cow is the symbol of fertility, the griffin was thought to be an especially powerful and majestic creature. Griffins are known for guarding treasure and priceless possessions.



2-2) Postal system

One of the many achievements of the Achaemenid dynasty was the development of the Postal system. Called Barid, this system was originally developed for imperial use, to help keep the empire stable. Later, it was utilized by other leaders and for business purposes. The postal workers would carry messages via horseback along well-paved and well-guarded road systems. At intervals along the way, which named Chaparkhaneh, there were always fresh riders and fresh horses to continue carrying the message without deal. Thus the system was lightning fast for its day.

● .



3) Imām Reza shrine is a complex which contains the mausoleum of Imām Ridhā, the eighth Imām of Twelver Shi'ites. It is the second largest mosque in the world. In 818 Imam Reza was martyred by Al-Ma'mun and was buried beside the grave of Harun. Shias and sunnis started visiting there for pilgrimage of his grave. By the end of the 9th century a dome was built on the grave and many buildings and Bazaars sprang up around it.金銀がふんだんに使われています。右下の写真 The tomb of Imām Ridhā,

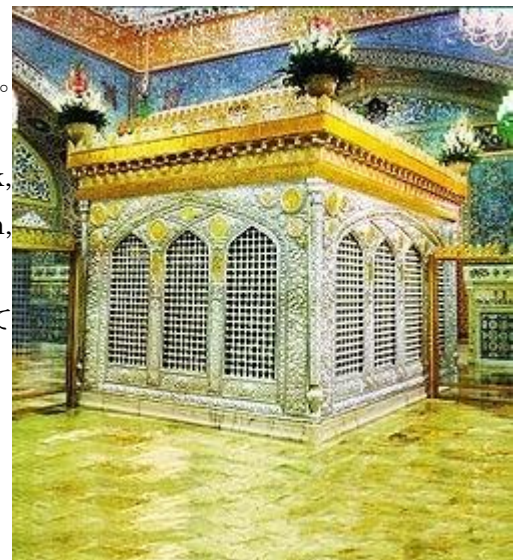
● .

4) ペルシャ語が英語に

現在 500 以上のペルシャ語が英語として残されていると推定されます。いくつかを列記すると

Bronze, Caravan, Caviar, Chess, Door, Better, Candy, Cash, Check, Cow, Guitar, Khaki, Lemon, Magic, Pajamas, Sandal, Spinach, Jasmine, Kebab, Lips, Orange, Paradise, Sugar etc.

へえ～、と思われるもの、そうだな、と思われるものいろいろあって面白いですね。



● .



Photo: Soozlabeh Karimi ©

質疑応答の中から

。 Persian miniature って？

Persian miniature is a small painting on paper, whether a book illustration or a separate work of art. The techniques are broadly comparable to the Western and Byzantine traditions of miniatures in illuminated manuscripts. Although there is an equally well-established Persian tradition of wall-painting, the survival rate and state of preservation of miniatures is better, and miniatures are much the best-known. Miniature painting became a significant Persian genre in the 13th century, and the highest point in the tradition was reached in the 15th and 16th centuries.

● .

。地震、洪水は？

良くあります。世界遺産のひとつ Bam Cultural Landscape も大きな被害に会い日本も含め世界各国の支援で再建中です。

。旅行するには？

交通機関は旅行者には不便だと思いますから日本人には Tour pack をお勧めします。イランへの旅行は不可能じゃないんですよ。ちょっとだけ面倒くさいけど。でも見所は沢山あるから是非おいでください。



。食事は？

スパイスは利かしてありますがホットではなく日本人にとって非常に食べやすく美味しいです。

。アルコールは？

ブラックマーケットで売ってます。自家製ワインもあります。

。働く女性の子供の世話は？

働く時間が日本より短く 8時から 2, 3時までが多いのでその間幼稚園に預けます。

。大学は？

公立は入試が難しいけれど無料、私立は金がかかります。それより卒業後の就職先が少ないことが問題。

。家事情は？

都市部ではアパートが多いですが日本ほど狭くは無いです。家の両親は郊外で 300 平米の一戸立ちです。

。イランではズブカを着なくてもいいのですか？

必要ありません、スカーフは必要ですが。スカーフは沢山の色があります。他の厳格なアラブ諸国は異なります。ホームパーティも盛んです。

。なぜ 日本を選んだの？

口腔外科に付いて言えば阪大は最高レベル、イランではきれいな歯並びが最優先条件ですから金属は使いません。笑ったときメタルが見えるのは野暮。でも本当のところは夫が彼の教授から日本を勧められ、それから二人で日本を研究、同じアジア文化を持ち他者を気遣う心、イランも同じです、の強い日本を選びました。（会場から拍手が起こりました） いやな思い、危険を感じたこと等一度もありません。